

2021年1月28日

独立行政法人大学入試センター
理事長 山本廣基様

食のコミュニケーション円卓会議
代表 市川まりこ

甘味料についての誤解を助長する、2021年度大学入学共通テストの
「英語リーディング問題第6問B（甘味料に関する英文）」についての要望書

食のコミュニケーション円卓会議は、消費者が抱える「食」への疑問や不安に向き合い、消費者の利益を損ねている思い込みにとらわれない、より良い食生活を送れるようになるための活動をしている消費者団体です。

意見

私たちは、問題文の内容は科学的事実と反する偏った主張と認識しています。大学入学共通テストのような多くの人を読む問題文に、今回のような一方的な主張の文章を選んだこと、受験生に甘味料に関して日本も含め世界の規制当局の科学的な安全性評価で安全性確認されているという事実を伝えていないことは甚だ問題です。

受験生が必死に読み解こうとする問題文に、このような偏った内容の文章を採用することは、彼らに偏った知識を信じ込ませることになりかねません。そして、今回の受験生約数十万人だけでなくこれから受験勉強に取り組む未来の大勢の中高生や学校・塾・予備校などの関係者にも繰り返し偏った知識を植え付けることになり、社会に誤解を広げ、消費者の利益を損なうことを私たちは懸念しています。

つきましては、本件への大学入試センターとして見解をいただきたく下記の通り要望いたします。2月末を目途にご回答いただきたくお願い申し上げます。

1. 「英語リーディング問題第6問B（甘味料に関する英文）」の出典を明らかにしてください。

2. その出典に甘味料について各国で安全性評価が行われていて安全性が確認されているというような記述はなかったのか教えてください。もし、こうした記述があるのであれば、そうした事実を知りながら偏った主張だけを取り上げたのはきわめて妥当性を欠いていたことになり、記述がない場合は、こうした偏った主張を取り上げたことが妥当性を欠いていたと考えます。
3. 今後、同様の不適切な出題を繰り返さないための対策（再発防止策）をどのように講じられるかお聞かせください。
また、以上の要望に対して問題作成者からの釈明などぜひお伺いしたいです。
4. 受験生や多くの関係者に誤解を招かないよう、今回記載のある甘味料は全て日本も含め世界各国で安全性確認が行われており、安全なものであることを、ホームページなどを通じて情報提供を行ってください。

以上